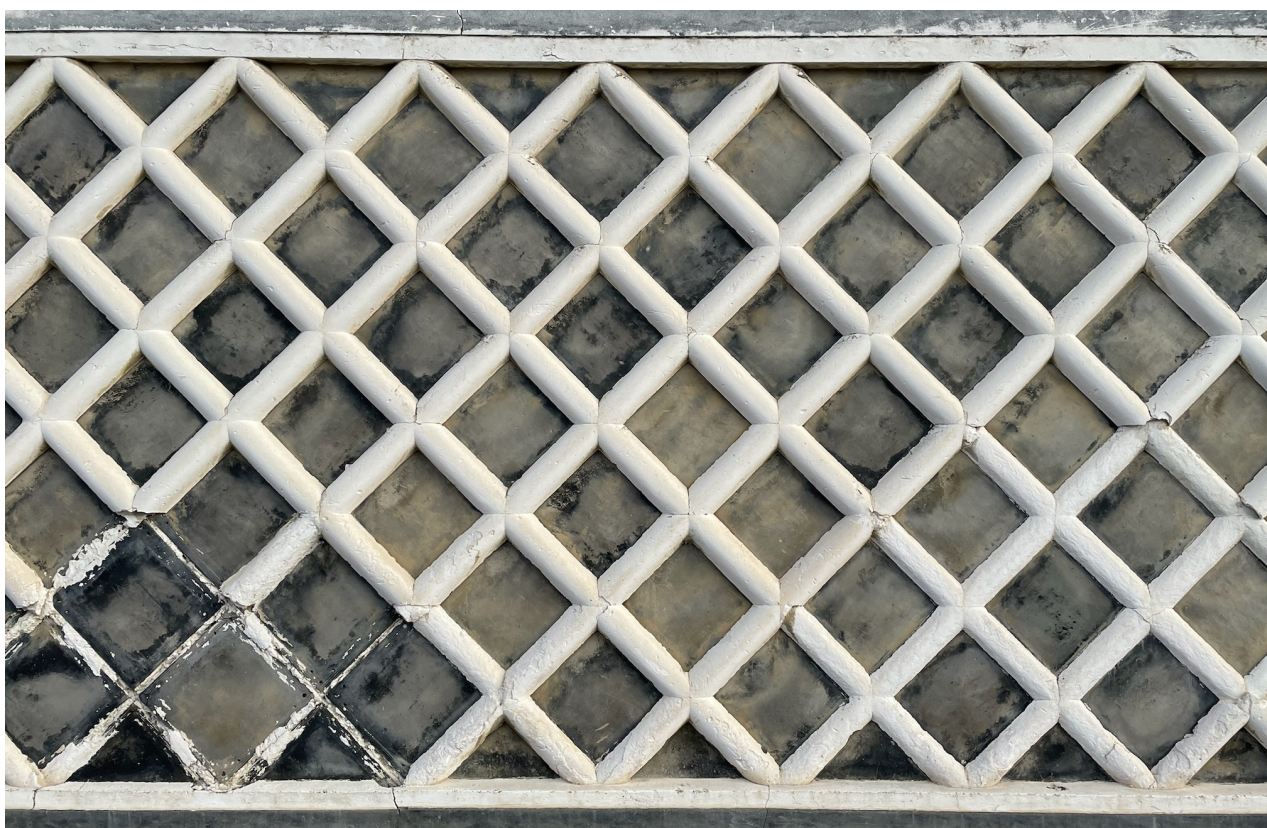


KOTO-NOBU-LOG.



暮れる「ギガ制限」

スマートフォンの契約プラン、どんなタイプをお使いでしょうか？私は在宅中はWi-Fi利用のため、スマートフォンのキャリアによる通信は外出時のみが日常です。そのため最小ギガ数の契約プランを使っているながら、いわゆる“ギガが足りない”を今まで経験したことはありませんでした。しかし、突如の...300kbpsへ。外出時にウェブ閲覧などすると、プログレスバーがのんびりと草をはむ牛の如くが進む世界に。そんな「ギガ制限」も、この年の瀬とともに暮れていきます。皆さんは、どんな年の瀬をお過ごしでしょうか？

2022年を振り返って



12月は、高松でのアウトリーチ・コンサートに始まり、草津、米原、横浜、鎌倉、平塚、多摩、八王子と移動が多い日々でした。思い返せば、今年は彦根、尾道、そして10月にはリトアニア・ヴィリニウスと、3年ぶりの海外公演ができた年でもありました。海外からの旅行者も、入国制限の緩和や為替の影響からか秋にも比較的増えてきたように思います。来年は、より旅の活況が戻ってくるかもしれませんね。



さて今年、神奈川、東京、栃木を巡る「ノブラボ・コンサート・キャラバン2022」ツアー公演を開催したことが、とても大きなことでした。全体の目的と各公演のコンセプト、会場を選び、ゲストを決め、プログラムを考え、スケジュール調整に、広報と集客作業、理想通りに上手くいかなかった面もありましたが、どの公演もゲストとそのコンセプトに寄り添ってお



客様をお迎えできたことは、本当に嬉しかったです。

来年度の「ノブラボ」公演も、制作準備がスタートしており、来年は地域と国際性に着目しようと思っています。一日も早く、皆さんに2023年度のプログラムをお届けしたいと思います。

さらに、11月から「J-TRAD Ensemble MAHORоба」（ジェイトラッドアンサンブルマホロバ）での活動が本格スタートしまし

た。箏、三味線、胡弓、尺八、鳴物による編成で、現代の作曲家との共同作業を基本に、新しい「傳燈」を創っていくことを目的にしています。大きなプロジェクトとしては、2024年の初演舞台に向けて新作委嘱の準備も始まっています。このグループは国際的に活動範囲を広げることも目標に掲げており、まだまだ始まったばかりです。



始まるものがあれば、終わるものもあり、7年間続いていた故郷での『SANKYOKU』公演が一つの区切りとなりました。本当に多くの関係各位、スタッフの皆さま、そして、お客様に支えて頂いたとともに、育てて頂き、誠にありがとうございました！来年はジャンプの得意な卯年、ワクワクする気持ちを忘れずに、心も弾む年にしたいと思います！2023年も、どうぞ、よろしく願いいたします！

